

ひろしま治験ネットの特徴およびメリット

ネットの特徴

ネットに登録されている約100施設の医療機関情報がデータベース化されているため、対象疾患からの候補施設選定が可能です。

ネット利用のメリット

医療機関の選定

ネット登録医療機関情報がデータベース化されているため、早期に施設選定ができます。
治験未実施施設についてはネット事務局にて実施体制整備を行います。

治験審査委員会(IRB)一括審議

ひろしま治験ネットを介した治験では、当該治験に関する調査審議をネット事務局で取りまとめ、広島大学病院治験審査委員会へ一括審議を依頼します。

審議料は1審議に係るコストのみである為、複数の施設で行う場合のスケールメリットがあります。
一括審議の為、限られた期間内で複数の施設の審議が1回で済み、時間・手間等の軽減に繋がります。

緊急時の対応は

緊急搬送委託を希望する実施医療機関には、被験者の緊急搬送先医療機関を紹介します。広島市内の医療機関は広島大学病院高度救命救急センターへ、また、広島市以外の医療機関へは漸次、地区単位で紹介します。

県医師会と契約締結した各地区での緊急搬送医療機関と連携している為、被験者の安全確保が図れます。

合同事前ヒアリング

参加医療機関の治験責任医師や担当スタッフが一堂に会し、治験依頼者を交えた意見交換の場を設け、資料やデータの不足及び疑問点などを提示し、追加・改訂・回答をして頂きます。

参加施設が一堂に会する為、プロトコル等に関する疑問・質問等がその場で一度に受けられ、時間と手間の削減ができます。その場で治験責任医師とのプロトコル合意が可能です。